

# 川越市勤労者福祉サービスセンター改善計画に係る取組状況

令和3年3月31日現在

## 1 正会員数を増加させる

### 《勤労者福祉サービスセンターの取組》

取組項目	①正会員獲得のための年度ごとの活動計画を作成する		取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター			
各事業所への加入に関する調査の分析結果に基づき、正会員獲得のための、活動計画に反映する。		28	調査・検討	会員獲得のために実施している取り組みについて、関東地区の勤労者福祉サービスセンターの状況調査を行った。	
		29	調査・実施	加入に関する調査の分析結果及び他団体で効果のあった取り組みを参考に、活動計画を作成した。正会員獲得のため入会金無料キャンペーンを行い、129事業所への事業所訪問と423事業所へのダイレクトメールの発送を行った。	
		30	↓	前年度より引き続き入会金無料及び、既存会員に対し知り合い事業所の紹介依頼キャンペーンを実施するほか、特別企画として高額補助事業の実施、機関誌のデザイン変更など、センターメニューの活性化を図り、従来のPR手法に変化を加えた。その他、699事業所へ会員募集のためのダイレクトメールを発送した。	
		1	↓	新規加入事業所の獲得を図るため、既存会員に対し、紹介料最高1万円のギフトカードを進呈し、知り合い事業所の紹介を依頼するキャンペーンを行った。また、新規事業の「インフルエンザ予防接種利用補助事業」に合わせて11月～12月に入会金と会費最大4か月分無料キャンペーンを行うとともに、市内605事業所にダイレクトメールを発送した。	
		2	↓	新規加入事業所の獲得のほか、既存会員事業所からの会員増加を図るため、追加で加入する際の経済的負担を軽減し、加入を容易にするため、令和2年度中のすべての入会金を無料にした。	

取組項目	②各事業所への加入に関する調査を実施し、結果分析する。	取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容(現在の状況を詳述する。)
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター		
市内事業所にサービスセンターへの加入に関する調査を実施し、分析する。		28	調査・検討	市内事業所への調査は行っていないが、未加入事業所への企業情報をどのように入手しているか、関東地区の勤労者福祉サービスセンターに入手先の調査を行った。
		29	調査・実施・分析	帝国データバンクから市内の従業員数が4人以上の事業所名簿を購入し、市内事業所552件に対し、加入に関する調査の実施と分析を行い、回答のあった事業所のうち約20%の団体から関心があると回答があった。
取組項目	③今後5年間の目標正会員数(最終目標、年度目標)を設定する	取組スケジュール(年度)		
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター		
会員獲得のための活動計画書に基づいて目標正会員数を設定する。		28	1,500人	平成28年度末の正会員数は1,521人であり、目標正会員数は達成した。
		29	1,550人	認知度向上のため川越矯正展への出展や入会金無料キャンペーンを行ったが入会に結び付かず、平成29年度末の正会員数は1,507人であり、目標正会員数を達成できなかった。目標達成のため引き続き推進していく。
		30	1,600人	ダイレクトメールなど未加入事業所への事業内容の周知、川越矯正展への出展によるPR活動及び入会金無料キャンペーンを行ったが、目標正会員数の達成には至らず、平成30年度末の会員数は1,505人となった。なお、引き続き会員獲得を推進していく。
		1	1,650人	会員からの紹介、入会金無料及び会費無料によるキャンペーンを行ったが、効果が得られず、令和元年度末の会員数は1,473人となった。引き続き会員獲得を推進していく。
		2	1,700人	会員数の増加について、入会金を無料としたが成果が得られなかった。また、大口の会員退会があり、令和2年度末の会員数は1,086人となった。引き続き会員獲得を推進していく。

## 2 経営の改善

### 《勤労者福祉サービスセンターの取組》

取組項目① 自主財源を増加させる	取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター	
<p>会員数の増加を図り、会員収入を増加させるとともに、会費以外の収入を増やすことの調査・研究を行う。</p>	28	調査・研究	<p>自主財源を増やすための取組みについて、関東地区の勤労者福祉サービスセンターの状況調査を行った。また、導入可能な方策として、会報誌への広告の掲載及び折込み広告の配布件数を拡大して、手数料収入を増やした。</p>
	29	研究・実施	<p>会報誌への広告の掲載及び折込み広告を継続し、来年度以降は新たにホームページバナーへの広告、ガイドブックへの広告の募集を開始することで、経費の削減を図るとともに、併せて自主事業の研究を継続して行うこととした。</p>
	30	↓	<p>広告の掲載及び折込、ホームページバナー広告の募集、また、広告以外の自主財源の確保について、研究を継続する。 事務手続きの合理化を図り、郵送料などの経費の削減を図る。</p>
	1	↓	<p>給付事業の運用の見直しにより、会員の負担を強いることなく、保険掛金の費用を削減することが可能となり、自主財源を増やすことができた。また、会報誌を送付する際の折込広告、及びホームページのバナー広告などの手数料収入の増加を図った。また、物販などの収益事業の実施も引き続き検討し、併せて経費削減に取り組み自主財源の増加に努める。</p>
	2	↓	<p>会報誌への広告の掲載、折込み広告及びホームページへのバナーへの広告の掲載を継続するとともに、団体保険と家庭用常備薬の斡旋を行い、財源の確保に努めた。なお、引き続き自主財源を増加させるための調査・研究を継続していくとともに経費の削減に努める。</p>

取組項目②人件費の見直しをする			取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター			
他団体の状況等を調査・検討し、給与体系の総合的な見直しを図る。	28	調査・検討	正規職員を雇用している関東地区の勤労者福祉サービスセンターの状況調査を行った。		
	29	↓	前年度の調査結果によると他団体の給与体系の多くは、当団体と同様に設立自治体の給与体系を準用している。したがって、当団体の給与体系は不適正なものではないと考えられるが、引き続き検討することとする。		
	30	実施	他団体の約8割は市または区の給与体系を参考にしており、現状を継続するものとした。なお、来年度に人事考課制度の導入について検討を行い、給与支給の透明性を確保するとともに、職員の勤労意欲が高まるような給与制度が図れるよう事務改善を進める。		
取組項目③会費、入会金の充当基準を明確化する。			取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター			
他団体の状況を調査し、会費・入会金の充当先の基準を策定し、充当先を明確化する。	28	調査・検討	会費・入会金の充当先について、関東地区の勤労者福祉サービスセンターの状況調査を行った。		
	29	実施	他団体に行った調査の結果から、会費・入会金の充当先を明確化した。会費の充当先は、勤労者福祉事業と給付事業に要する費用に充て、入会金は事務経費に充てることとした。		

取組項目④セレクト会員制度の見直しをする		取組スケジュール(年度)	措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）	
取組内容、手順・方法等	所管			
セレクト会員制度の検証を行い、制度の見直しを行う。	川越市勤労者福祉サービスセンター	28	調査・検討	通常の会員の外に、特別会員制度を設けている関東地区の勤労者福祉サービスセンターの状況調査を行った。
		29	↓	市内の事業所に勤務する勤労者が正会員になるためには、事業主の同意がなければ加入できないため、会員になりたくても会員になれない勤労者の加入を促進させるために、セレクト会員制度は継続することとした。しかし、正会員制度と同様に勤労者のためのサービスであることを、より明確にするために会員に関する規程を改正する準備を行うこととした。
		30	実施	会員の高齢化に伴い、平成26年度末現在のセレクト会員数は449人であったが、平成30年度末現在では211人と半減している。今後も更に減少することが見込まれる事を考慮し、制度の見直しは行わず、適切な時期にセレクト会員制度を廃止することとした。

取組項目⑤慶弔給付事業の見直しをする		取組スケジュール(年度)	措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）	
取組内容、手順・方法等	所管			
他団体の調査、会員へ慶弔給付事業のアンケート調査を行い、会員のニーズに合った給付事由、給付額となるよう見直しを行う。	川越市勤労者福祉サービスセンター	28	調査・検討	関東地区の勤労者福祉サービスセンターの給付事由、給付金額の調査を行った。
		29	↓	慶弔給付事業について、前年に行った他団体への調査の結果から、全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔共済を利用している現在の実施方法からの変更など、今後の事業実施について検討を行った。 給付金額・項目の削減については、現在、正会員の獲得・増加が課題となっており、サービスの縮小は考えにくいこと。また、独自に事業を実施した場合に必要な給付に係る資金余力や、事務経費の増大などを総合的に検討した結果、当面は現状の実施形態を継続することとし、引き続き検討を行うこととした。
		30	実施	会員アンケート調査と昨年度からの事業実施についての検討結果により、給付事由・給付額は現状を維持することとなった。 また、掛金の割合が高い全福ネット慶弔給付事業を見直し、検討を行った結果、一定程度の経費の削減(約70万円)が見込めるため、全福ネットへの委託と独自給付との併用により、給付事業を行うこととした。その結果、一人あたりの月額保険料は272円であったものが、42円と見直しが図れた。

### 3 事業内容の見直し

#### 《勤労者福祉サービスセンターの取組》

取組項目	取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）	
取組内容、手順・方法等	所管			
他団体の調査、会員へアンケート調査を行い、事業を廃止するか、委託事業で継続実施するか検討する。	川越市勤労者福祉サービスセンター	28	調査・検討	関東地区の勤労者福祉サービスセンターのバスツアー実施状況について、調査を行った。
		29	↓	ハイキングツアーを含むレクリエーションバスツアーはセンターの実施している公益目的事業の一つであり、市内事業所へのアンケートでは、法定外福利厚生事業について、健康関連の補助と余暇・レジャー施設の充実への関心が高かったことなどから、当面の間、センターにリスクの無いよう旅行会社の商品を利用し、事業を継続することとする。
		30	実施	全会員に対し「サービスメニューに対する満足度調査」を行った結果、バスツアー事業を実施してもらいたいとの要望があった。この結果を踏まえ、バスツアー事業は、当面の間委託により事業を継続することとし、平成31年度より、登山・味覚狩り・観光・体験・中高年向け・親子向けなどといったテーマに沿ったツアーを企画するとともに、さらに、隣接市のサービスセンターと合同で実施することなど見直しを行った。なお、今後も、参加状況やニーズを勘案し、効果的な事業となるよう検討を行うこととした。

取組項目	② 会員ニーズ等の調査結果をもとに、全体的な事業の見直し（拡充、縮小）をする		取組スケジュール(年度)		措置内容・検討内容（現在の状況を詳述する。）
取組内容、手順・方法等	所管	川越市勤労者福祉サービスセンター			
他団体の調査、会員へアンケート調査を行い、会員のニーズに合った事業を実施する。	28	調査・検討	会員の利用が多い事業について、関東地区の勤労者福祉サービスセンターの状況調査を行った。		
	29	↓	全会員に対し「サービスメニューに対する満足度調査」を行う計画であったが、具体的な設問の設定に時間を要してしまい、調査実施は平成30年度に行うこととする。		
	30	調査・実施	全会員に対し「サービスメニューに対する満足度調査」を行った結果、センターの主要メニューにあつてはいずれも満足度・関心度は高かった。当該メニューにあつては、引き続き充実したサービスの提供に努める。更に、会員から寄せられた意見・要望を精査し、特に有効と思われる補助事業やチケット斡旋事業の拡充を図るとともに、新たにインフルエンザ予防接種補助事業など、平成31年度事業計画に反映させた。		
	1	↓	今年度から開始したインフルエンザ予防接種事業にあつては、おおむね好評であり、特に従業員が10名以上の事業所の利用が多かった。また、提携施設では、新たにスケート場と市内のいちご狩り園を追加し、事業内容を充実させた。引き続き会員のニーズや、社会の動向を捉え、新規事業の開拓を行っていく。		
	2	↓	コロナ禍による外出の自粛、遊園地等のレジャー施設の休園及び入場制限等で利用しづらい既存事業もあるため、生活支援も兼ねて人気のあるグルメカード、ミスタードーナツ商品券の斡旋販売に加え、新たにKFCカード、吉野家プリカ及びすかいらーく優待券等の商品券の斡旋販売をおこなった。引き続き「新しい生活様式」に対応した事業を摸索しながら、会員のニーズに対応した事業を行っていく。		